

令和 7 年 4 月 1 日
日野市立日野第三中学校
校長 伴 光明

日野市立日野第三中学校 令和7年度学校経営計画

令和 6 年度までの学校経営をふまえ、第 4 次日野市学校教育構想を新たな学校づくりの指針とした学校経営を構想する。

学校教育目標「自立と共生」をグローバル化、多様化する社会が目指す課題と捉え、一層の深化を目指し、日々の指導に投影させることを目指す。

1 願い

- 一人一人の生徒が、将来にわたって健康で、心豊かに生活すること
- 18 歳以降の社会参加を見据え、卒業時の第一志望進路先を実現すること
- 生徒のために働く教職員一人一人が、ワークキャリアの各段階において、ライフ・ワーク・バランスを実現すること
- 学校の教育活動が地域の信頼を得て、地域活性化への協働を果たすこと

2 学校の教育目標

日本国憲法に基づく人権尊重の精神を基調とし、心身共に健康で豊かな人間を育成するため、次の目指す学校像を基に教育目標を定め、本校の教育活動の基本とする。

「自立 共生」

生徒一人一人に、将来に夢や希望を抱き自らその実現に向け成長する力及び、より良く生きるための基礎的力(=自立)を付ける。加え、地域における学校として、助け合い共に生きていく力(=共生)を育む。

(1) 教育目標を具体化する基本方針

- ① 人権尊重の精神を基に、全教育活動を指導する。
- ② 卒業後の3年間及びその後の生き方を見据え、自立を生徒育成・指導の中心に位置付ける。また、教員はもとより、生徒、家庭が生徒の第一志望進路先実現の支援環境を実現・維持する。
- ③ 教員の継続的改善及び補充学習等により、全生徒に基礎的・基本的学習内容を定着させるとともに、学習意欲を引き出し、3年間にわたり保持させる。また、行為と背景を分けた厳しくも温かな生活指導を継続実施する。
- ④ 特別活動(学校・学年行事を含む)への参画意欲を高める指導を工夫する。生徒の活動を主体とし、教員主導の場面を抑制する。また、地域社会への生徒の参画を促す取組を推進する。
- ⑤ 自立に向かう力の発達の理解を深め、個々の生徒の学習上または生活上の困難を改善、克服するための支援の手立てを組織的に実施する。
- ⑥ 面倒見よく指導し、生徒にとりより良い教育環境としての学校を実現する。
- ⑦ 共生社会の実現のために、生徒が地域社会に出向く活動、地域の方が学校に来る活動、近隣小学校・七生特別支援学校との連携を推進するなど地域に根差し、その特長を生かす。
- ⑧ 学校運営連絡協議会から学校経営の基本方針等について意見を得、地域と共にある学校を実現する。

(2) 目指す学校像

- ① 生徒が**確かな学力**を身に付け、自分の**特性を生かし進路を実現**する学校。
- ② 保護者・地域から**信頼され**、地域活性化への期待に応える学校。
- ③ 教職員が**指導力を背景に職責を果たし**、ライフ・ワーク・バランスを実現する学校。
- ④ 生徒の発達の状態や心理面からの理解に努め、生徒一人一人の**自己肯定感を育む**学校。
- ⑤ 誰もが**人権尊重の精神**をもち、深い信頼関係を築いて、いじめや不適切な言動が入り込む隙のない学校。

(3) 目指す生徒像

- ① **自己を見つめ、他者を尊重し、認め合い、学び合い、社会の中でよりよく生きようとする態度を身に付けた生徒**
- ② いじめをしない、許さない生徒。
- ③ 勤労や奉仕の大切さを知り、社会や地域社会に貢献する生徒。

3 重点方策

「学校規模の維持」

これまでの「三中プロジェクト」に代わる新たな3つのプロジェクト(トライ!三中トリプルプロジェクト)を推進し、確かな学力が身に付く学校、地域との強固な連携による安心な学校となる。

合わせて、その意義や効果を効果的に発信し、小学生やその保護者が希望をもって進学してくる学校となる

(1) 人権を尊重し、主体的に学ぶ姿勢を発揮させる

- ① 特別な教科道徳の充実
- ② 人権教育の効果的実施(人権意見発表会)

(2) 学習指導を充実させる

- ① 入試分析による指導改善
- ② 学習評価評価にかかわる教員の理解・啓発・実践の推進
- ③ GIGA スクール構想に基づく情報端末有効活用の促進と保護者参画
- ④ 校内研修の効果的実施
- ⑤ 授業研究の設定、年3回の研究授業の実施

(3) 豊かな人間性と社会性を育む教育を充実させる

- ① 地域、社会とつながる総合的な学習や学校行事の実施

学びの往還プロジェクト

各教科・総合的な学習の時間を相互の関係で捉えるカリキュラム・マネジメント(探究を含む)を実施、主体的・対話的で深い学びを一層推進



(4) キャリア教育を充実させる

- ① キャリアパスポートの活用を図り、小学校からの円滑な入学・移行を実現
- ② 生徒が18歳の自分を想像し、希望する進路選択と進路決定100%達成
- ③ 地域や社会とつながる総合的な学習の充実

(5) 誰一人取り残さない教育を実現する

- ① 通常の学級における取組の充実
- ② 特別支援学級(情緒固定・8組)における教育の充実
- ③ 特別支援教室(拠点校・ステップ)における教育の充実



学びの連続性プロジェクト

一人一人に応じた教育の場を用意するとともに、場を超えて一貫した教育、支援を実現する。

- ④ 別室登校教室（みつばルーム）における支援の充実
- ⑤ 教育センター適応指導教室（わかば教室）との連携の充実
- ⑥ 特別支援学校（七生特別支援学校ほか）との連携の充実



- (6) 生活指導を充実させる
組織による生活指導の充実特別支援教育委員会及びスクールカウンセラーと連携し、「心理的な安定」「コミュニケーション」等の指導内容との関連

- (7) 保護者、地域の方等と連携し学校を運営する
- ① 保護者間のつながりを促進する学校発の情報の充実
 - ② みっちゅ団活動部の拡大と緩やかな連携
 - ③ 地域の学校との連携推進（近隣小学校、七生特別支援学校）
 - ④ 地域行事（「ほどくぼんおどり」他）の企画・運営への生徒参画促進



みっちゅ
コンソーシアム
プロジェクト

三中支援ボランティア「みっちゅ団」による学校支援と学校の地域支援の相互互惠関係の構築



三中 50 周年記念

マスコットキャラクター「みっちゅ」

- (8) コンプライアンス、服務規律、ライフ・ワーク・バランス
- ① 法令の遵守、市及び市立学校のルールに則った職務遂行
 - ② より良い職の在り方に向けた提案型コンプライアンスの体現
 - ③ 法令研修（体罰防止他）、服务内容の理解促進と遵守意識の醸成
 - ④ 教職員勤務状況の把握、業務効率化
 - ⑤ 部活動指導員活用の理解、周知
 - ⑥ 多くの職種によるより良い指導環境の構築
 - ⑦ 定時退勤日設定・定時退勤実施 原則毎水曜日を定時退勤日と設定

- (9) 校務分掌等の活性化
- ① C4th 効率的活用をはじめとする校務での ICT 活用の推進
 - ② 組織的な関与、審査等による学校の意思決定の明確化を推進
 - ③ 週毎の指導計画内容の向上・使用上の課題提示・改善提案

- (10) 主任・主幹・管理職候補者等の育成
- ① 研修に主体的に取り組む教員の育成
 - ② 個別面接指導を通し自覚を醸成、具体的なキャリアプランをイメージ

令和7年度学校経営計画

日野市立日野第三中学校
校長 伴 光明



日野市の市民・子供たちが「より良く」生きようとする姿に
日野三中が目指す 教育の目標「自立 共生」を重ね合わせて
さらに これまでの 蓄積の上に これからを見据え
「学び」に関して 2つ 「地域」に関して 1つ 合わせて「3つ」の プロジェクトを
重点課題とした 学校経営を 進めていきます。

第4次日野市学校教育基本構想

子供たちが育んでいってほしい力
すべての「いのち」が **たくましく** 今と未来を **つくりていく力**

子供を真ん中にして みんなが
当事者として かかわっていくことが
この構想を支えています



自立
共生
かける 日野三中の学校教育目標



三中プロジェクト
これまで培った 地域との連携
広報などの発信力 キャリア教育
の充実や 進路実現などの成果

対
話

学びの往還プロジェクト

教職員の挑戦 探究的で深い学び 居場所・活躍 多様な参画
体験を通した学びにつながる各教科の内容を分析し
より良い主体的な学びに導く
意図的・計画的な指導計画づくりに挑戦！
社会と未来に開き
みんな がつくる

学びの連続性プロジェクト

教職員の挑戦 探究的で深い学び 居場所・活躍 多様な参画
小学校との円滑な接続から
将来の夢につながる
主体的な学びのキャリアを
見える化！
みんなの多様な学び
多様な学びを
理解と個性に合わせた配
置

地域共創 みっちゅコンソーシアムPJ

教職員の挑戦 探究的で深い学び 居場所・活躍 多様な参画
三中があつてよかった！
活気ある地域を作る「みっちゅ団」の緩やかな協働
多職種連携を念頭にした働きやすさ・働きがいある職
場としての学校づくり
みんな が当事者として
自ら歩む道をつくる